



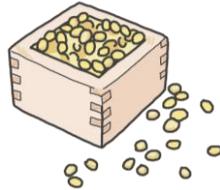
ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよたすあ 仲良く助け合っ  
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが かつどう  
つづ 続けています。

# くろするる〜ど

2022/2月号 第268号

かいほうし 会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

## 〜サロン月間カレンダー2月〜

## 「サロンが移転することになりました」

かいちょう わだ やすひろ 会長 和田 泰弘

1月7日(金)から今年度の学習会が始まりましたが、翌週から東京、および府中市の新型コロナウイルスの感染者が急増したため、ボランティア、学習者の安全を考え、1月17日(月)から休止しています。学習会の再開の時期については、追ってお知らせします。

1月12日(水)に開かれた実行委員会において、市の協働推進課の阿部課長より説明があり、サロンが2023年4月に、男女共同参画センター・フュール(旧・女性センター)に移転することになりました。現在、新しい市庁舎の建設工事が進んでいますが、それにともない事務室や会議室が不足し、現在使っている事務局と学習室がそれらに充当されることになりました。

### ■定例日本語学習会休止

以下の週5回の学習会は、しばらく休みます。

- 月・午前10時～昼12時 午後2時～4時
- 水・午後2時～4時
- 金・午後2時～4時 午後7時～9時

移転先の男女共同参画センター・フュールは、京王線中河原駅から徒歩1分のところにある「ステータ府中中河原」(1階がスーパー「ライフ」)の4階にあります。事務局、学習室、託児室、倉庫等はフュールにまとまって入ることになっていますが、府中国際交流サロンが使えるスペースについては、これから協働推進課と交渉していきます。

### ■実行委員会

日時：2月9日(水) 午前10時～昼12時  
場所：サロン学習室

事務局にあるテキストや教材、各部会の重要書類、テーブル、椅子、ロッカー等の什器類、倉庫にある各部会の備品類をフュールに移送することになりますが、具体的な移転作業は、来年の2月から3月にかけてを予定しています。従って、現在の学習室の使用は、来年2月までとなります。

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

移転を円滑に進めるにあたり、移転準備委員会を設けることになり、今後はここを中心に移転作業を進めていきます。皆さまのご協力をよろしく願います。



# 世界の文化

昨年12月4日に行われた「国際ふれあい会～私のふるさとを語る」で発表されたスピーチを紹介いたします。

## 「私のふるさと 中国・撫順市」

長久保 まり (中国)

### 1. 自己紹介と家族の歴史

皆さん、初めまして、長久保まりと申します。本日は、お忙しい中、またコロナ禍での大変な状況の中、お越しいただきありがとうございます。

私は中国の遼寧省撫順市で生まれました。二十歳の時、家族と4人で日本に来ました。実は私の母は中国残留孤児です。中国残留孤児という名前は皆さんご存知でしょうか？

今から76年前、中国東北部にあった「満州」で155万人の日本人が住んでいました。1945年8月、ソ連の参戦以後（ソ連というのは今のロシアです）満州は大混乱になりました。現地にいた多くの日本人は難民となりました。北安省（今の黒龍江省）の海輪という街のとある建物の中に、赤ん坊だった母が布団に包まれて置かれていたそうです。その赤ん坊を一人の中国人が見つつけて連れ帰りました。後の養父、育ての父です。私の母のような日本人の子供達は敗戦の混乱の中で家族と生き別れたり、死に別れたりして、中国人の家庭で育てられました。中国残留孤児と呼ばれています。



5～6歳のころの母と、養父母

は撫順市で生まれ育ちました。

敗戦後から1949年まで、政権をめぐる中国は内戦状態に陥っていました。長春に住んでいた養父母は内戦で混乱する長春を脱出し、養父の故郷である遼寧省の撫順に逃げました。その後、母は50歳位まで遼寧省の撫順で暮らし

### 2. 撫順市と、その生活

撫順市の面積は10,816平方キロメートルで人口は約230万人です。世界屈指の露天掘炭鉱を有し、古くから「石炭の都」といわれております。山々が連なり、森林資源や水資源が豊富です。石油精製をはじめ、電力、冶金、機械、電子、紡績等の工業が盛んで、工業の町です。

ぶじゅんちず



撫順市の気候は、夏は長く、暖かく、湿度が高く、冬は北海道の冬より寒く、雪がよく降ります。私の子供のころ、マイナス30度の時もありました。寒い季節は、雪もよく積もるので、子供たちは雪の積もった所で雪だるまを作って遊びます。服装は、分厚いコートやスノーブーツ、セーターと、手袋やマフラーが必要になります。

私の子供のころは、まだ貧しい時代で、食べ物はそんなに豊かではありませんでした。今の時期(12月)になると、トラックに白菜を満載して街角へ売りに来ます。酸菜という漬物を作って、冬の主な副食として、食べました。

中国東北部で白菜を晩秋に甕(口が大きく底の深い陶磁器の容器)に漬けて、自然発酵させて、冬季には、おもに鍋料理の材料として親しまれました。また、冬の時期になると露店のお店に並ぶ季節限定で親しまれている「糖葫芦(タンフルー)」という伝統菓子が売られるようになります。大きさは梅と同じくらいで串刺しが特徴です。

### 3. 春節(正月)

そして、子供のころ、一年の中で何よりも楽しみにしていたのは春節(旧正月)を過ごすことでした。昔は、貧しい時代で、春節になると、美味しい

ものを食べ、新しい服を着る、そして何より爆竹を鳴らすことが楽しみでした。実は、中国では魔除けとして大晦日の夜に爆竹を盛大に鳴らします。年の変わり目の夜の12時には爆竹と花火はピークに達します。大変美しい夜空になりました。その時の感動と喜びを忘れられないです。しかし、近年中国で問題になっている大気汚染の関係で、打ち上げが禁止になっている地域もあります。その地域で爆竹・花火をした違反者は数万元の罰金を支払うことになるので、気を付けなければなりません。

日本の元旦、正月は1月1日で毎年、日付が変わることはありませんが、中国の春節は同じ日付ではなく、毎年日付が変わります。

日本でいう元旦を中国では「大年初一(ダァニエンチウーイー)」といい、旧暦の1月1日～1月4日までの期間を指します。日本と同じように、中国でも春節の期間に親戚への挨拶回りをするのが恒例です。中国ではお中元とお歳暮の習慣がないですが、一年間大変お世話になったという感謝の気持ちを込めてお菓子、お酒等をお土産として持参して、挨拶回りをします。

日本では年末に年越しそばを食べますが、中国の春節では何を食べていると思いますか。中国北方の正月の代表的な食べ物は餃子です。中国で餃子といえば、水餃子のことを指します。餃子の独特な形は中国の昔のお金である「元宝」がルーツといわれています。春節の飾りつけは日本の正月の渋い色彩とは異なり、赤・黄・ゴールドを中心としたきらびやかなものが多いです。日本の正月飾りでもある門松・しめ縄・鏡餅などに似た飾りも中国にはあります。その代表的なものとして有名なものが「福字」と「春聯」です。福字とは「福」と大きく書かれた飾りもので、貼る場所は家の門や壁になります。この福字の飾り物は家によって逆さまに飾られていることがあります。それは「倒」と「到」の発音が中国では同じ(ダオ)ことから、「倒福」(福が逆さま)が「到福」(福が訪れる)と同じ意味を表すからといわれています。

#### 4. 撫順市と日本人との交流

先程、撫順の気候、食べ物、お正月の習慣等に

ついて、ご紹介しましたが、これから、撫順市の歴史について、少し触れてみたいと思います。

実は私は歴史が苦手で、最近スピーチを発表するため、撫順市の歴史について、ネットで調べてみたところ、撫順戦犯管理所の話が気になっていましたので、皆さんにご紹介させていただきたいと思えます。

ぶじゅんせんぱんかんりしよ



今から76年前(1945年)、日本敗戦後、旧軍人達が旧ソ連軍の捕虜となり、五年間過酷なシベリア抑留生活を続けていました。そのうち、1,000名は、新たに「戦犯」として中国に引き渡されました。そして1950年から6年間、彼らは撫順戦犯管理所で過ごすことになったのです。撫順での待遇は過酷なシベリアとまったく違っていました。強制労働、学習等一切強制はなく、人道的に扱われていました。

ある若い所員は担当する戦犯の中に、父を目の前で虐殺した日本人を発見しました。悩んだ末に、彼は所長に転勤の願いを出しました。しかし、所長はこのように言いました。「貴方の気持ちが痛いほど分かる、戦犯達は過去を反省することによって、戦争の鬼から再び人間らしい人間に戻ることができる。果たして天国のお父さんは報復の応酬が生み出す悲劇の繰り返しを望んでいるだろうか。再び戦争が起こらないように教育するのは貴方の使命だよ」と所長に言われました。その後、この所員は職場に留まりました。後に、彼は真夜中に急性盲腸炎の激痛に襲われたその仇を「大丈夫だ」と励ましながら、背負って医務室まで運び、父の仇である日本人の命を救うことになります。

もう一つのエピソードがあります。

戦犯達が管理所で生活しているうちに、職員達とお互いに信頼へと変わっていきました。日本人による

自主的学習会開催、自らの犯した過ち、罪の告白をするようになりました。

一人の日本人が罪の意識に耐えきれなくなり、深く掘られた便槽に飛び込み自殺を図ったことがありました。この次に起きたことが、他の日本人達を心の底から震撼させました。中国人の所員の一人が聞きつくと、すぐに駆け付け、自らも飛び込み、糞尿にまみれながら彼を担ぎ上げ、人工呼吸を施したのです。

数年にわたる準備期間を経て、軍事法廷は1956年から始まりました。ところが、戦犯の大多数は起訴を免除され、起訴されたものも、多くの被告自身が死罪を望んだのに、死刑はゼロでした、所長は当時の中央の指導者であった周恩来に抗議しました。周恩来は言いました。

「侵略の罪を自覚し、もう二度と戦争が起きないと誓った彼ら全員が生きて日本に帰り、そして同じ日本人に彼らの体験を話してきかせるとする、これは私達中国人が日本人に語るよりもずっと効果がある。寛大政策の正しさは必ずや未来に証明されるはずだ。」

その後、戦犯達は日本に帰国し、肉親と再会し、さらに新しい家庭を作っていました。

けれども、彼らは帰国する以前から「中国共産党に洗脳された赤」とのレッテルを貼られました。日本の各地で就職差別に合い、公安警察の監視も付きましました。しかしながら、こうした障害にめげず、早くも1957年中国帰還者連絡会を結成し、自分たちの戦争体験、加害者としての証言を続けました。

その後、中国社会はまた変動が激しくなり、特に文化大革命の時代では、富裕層と言われるお金持ちや、知識人、日本人等外国につながりを持つ人は迫害される可能性がある大変な時代でした。中国側の職員は文化大革命の時代で資本主義国の日本人戦犯を優遇したということで、迫害されました。

戦犯たちは帰国して25年の間、管理所の職員と会うことができませんでした。1984年になって、元職員達は訪日することになり、元戦犯達は日本各地から空港まで駆けつけて、熱烈に抱き合い、涙を流して喜び合いました。

撫順戦犯管理所について、NHKが「戦犯たちの告

白」(1989.8.15 NHKスペシャル 終戦特番)、ドキュメンタリー「NHKスペシャル」認罪”中国撫順戦犯管理所の6年」(2008.11.30 BSハイビジョン特集)でも放送されました。

中国帰還者連合会が1957年に結成して以来ほぼ半世紀の間に、元々いた千人のうちの多くの人々、すなわち800人以上がすでに亡くなり、会員の平均年齢80歳を超えました。

2002年に会は会員の高齢化のために、公式に解散をしました。彼らは最後の最後まで、平和と友好を目指して努力してきました。その後、20代の若者中心に「撫順の奇跡を受け継ぐ会」という中国帰還者連絡会(中帰連)の後身団体が結成されました。

(参考:撫順戦犯管理所の情報は「季刊 中帰連」[このサイト](#)などを参照しました)

偶々、ネットで見つけたこの記事に感動しましたので、是非皆さんにお伝えしようと思いました。

今回のスピーチの発表のきっかけで、色んな意味で勉強になったと思います。素晴らしいチャンスを与えていただきまして誠にありがとうございました。サロンの先生方のご親切なご指導に心から感謝致します。

皆さん、ご清聴ありがとうございました。



パワーポイントで撫順市を紹介する長久保さん



## 「はじめての診察体験」

もうひ ちゅうごく  
孟飛 (中国)

長い間に私は飲食が不規則なので、左腹の上がたまに痛くなって、心配になりました。自分でインターネットで調べて様々な厳しい病気が表示されていました。自分の気持ちは重くなって、そして、荒木先生に相談して、5月ぐらい、先生と一緒に府中のクリニックで診断されました。二週間ぐらい胃と腸の薬をもらって治りました。でも、11月に再度痛くなって、右腹がちょっと痛くなって、もう一度このクリニックに行ってお医者さんから紹介状をもらって大きな病院で詳細な診断したほうが良いと言われました。

11月15日紹介状と保険証を持って、先生と一緒に府中医王病院に行きました。お医者さんは親切に私の体の症状を聞いてもらって、あとは詳しく診断を説明されて、でも、日本語がうまくない私にこの医療言葉は理解しにくいから、先生に全体の過程、私の立場で考えて、簡単な日本語で説明してもらいました。胃カメラ、腸、血液を診断されました。

胃カメラを受ける前に看護師さんは最近薬を飲むか飲まないか、アレルギーか、麻酔のことで真剣に確認しました。つぎ、看護師さん、私の喉の口を麻酔スプレーして、すぐに、のどが熱くなりました。無感覚になりました。あと、医者さんは部屋に入ってから、胃カメラを始めました。私は医院のベッドで横向きに寝て、口を丸形のサポートで支えられました。医者さんが黒いホースを口から胃までいられて、体のどこかの範囲かを説明してもらいました。このプロセスの中で看護師さんは手で背に軽くさすって、ほめてくれました。私はすごく安心しました。約5分で終わりました。医者さんと私は一緒にコンピューターの前に座って、胃の写真をしっかり見て、説明してもらって、結論、私の胃は問題がない、状況が良いといわれて、ホッとしました。最後、看護師さんは注意することを説明して麻酔の原因で約1時間内、水分と食事をしないでくださいと言われました。

以上、わたしの日本医院での診察体験でした。丁寧に診察をされて、安心しました。ありがとうございました。



## 私のふるさと ~39~

### 「おいしい仙台」

きんようよる とべ けいこ  
金曜夜ボランティア 戸邊 慶子

私のふるすとは東北地方の仙台です。仙台の中心にはおしゃれな通りがあり東京に負けないくらいステキなお店がたくさん並んでいます。ところが一歩、街の外に出ると山、海、田んぼがすぐ近くにある。・・・ここに仙台のおいしい秘密があるのです。

新鮮な魚とうまい米がすぐ手に入る、こう来ればおいしい一番はお寿司。どんなお店でも最高のお寿司が出てきます。回転寿司でもおいしいと言われて

二番目は有名な牛タン。

あまり食べられていなかった牛タンを何とかしたいと取り組んで出来たのが現在の牛タン料理です。私が



初めて牛タンを食べたのは30年も前、何か分からないけどおいしい牛肉の店が噂になって行って見たのです。コリッとした肉の食感と甘辛い味付け、添えてあった生キャベツがとても甘かったのです。

三番目は仙台だけのスイーツ、ずんだ餅。夏の短



いシーズンにだけ八百屋さんで売られる枝豆、これを茹でてつぶし砂糖を加えたのが打豆(ずんだ)です。たっ

ぷりのずんだで包んだお餅は生きている豆の香りが強烈で食べた人をとりこにしてしまうのです。

そして秋が深まるともう一つおいしい集まりがあります。家族や友人、仲間が川原にたき火を起こし大鍋をのせて始まる芋煮会。キノコや里芋、その時一番おいしい材料をどっさり入れて味噌で味を整えます。食べられるモノだけ入れるという決まりが

ありますが時にはヘンなモノも入るとか。

このほかに新鮮な松島カキ、伊達藩の昔から続く仙台駄菓子、深い味わいの地酒など、うまいものはまだまだたくさんあります。

十年前の大災害を乗り越えて海のお魚が戻ってきたと聞いています。昔、海辺の民宿に泊まった時は今、海から捕ったばかりのウニが食卓にいっぱい並んだの覚えています。安くて豊富な海の幸、今はどうなっているのでしょうか。

あの豊富なウニは復活しているのか、うまい魚は戻ってきているのか、来夏はぜひ三陸の海を訪れてみたいと思っています。



みな

がくしゅうしゃしょうかい

## 皆さんよろしく◇学習者紹介

コリン ショアーさん (カナダ)



### 「祖父と日本語で話したいです」

カナダの西部ブリティッシュコロンビア州にあるバンクーバーアイランドのナナイモ市から昨年9月に来日しました。

大学の4年間は看護師としての勉強をして、卒業後10年間看護師として働いていました。4年前に結婚しても続けていました。

昨年ご主人が調布南高校の英語の先生となり、仕事を辞めて一緒に日本で過ごすことになり、府中市に住んでいます。

「日本人の父親が20歳の時カナダに留学して、その後カナダ人の母親と結婚して、カナダで生活をしていて、わたしたち3人の子供がいます。」とのことですが、日本にお父さんの親戚がいるので、今までに6回日本に遊びにきたそうです。

川越に住んでいるその親戚、特に104歳のおじさんと早く日本語で話ができるように、サロンで勉強しています。

いまのところ、ご主人の日本での仕事は2、3年の予定ですが、日本が好きなので将来の夢は、日本で家を作って、子供が二人ぐらいいる生活が出来たらいいなと夢を語ってくれました。

サロンでは楽しく日本語を勉強していて、ボランティアの先生達に有難うと言いたいそうです。

(取材・文構成 堤 林)



# ことばの由来

## 「虎は強いものの象徴？」

今年（令和4年）の干支は寅。十二支の中で一番強い虎は、中国をはじめ東洋では「百獣の王」だったが、今ではライオンにその地位を譲ったかたちになっている。

しかし、虎をルーツにした言葉は多く、「虎視眈眈」のように今でも使われているものも多い。野心をもった人間が、虎が獲物を狙っているときと同じように、ひそかに上の地位を狙っている様子に使われる。

虎は子どもを大事にするということから、「虎の子」は、大事なもののことを言う。その大事な虎の子を捕獲するには、危険をおかして虎の穴に入らなければならないので、「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という格言もある。大きな成果をあげるには、それぐらいの覚悟が必要だということ。

余計なことをして問題をおこすことを「虎の尾をふむ」と言い「寝た子を起こす」と同じように使う。

このように虎を由来にした言葉は多いが、現在虎そのものが話題になるのは、動物園の虎のことぐらいだろう。

一方、日本で有名な「虎」と言えば、阪神タイガースのことで、熱狂的なファンのことは「虎党」と言われている。

昨年はその強い「虎」が、最後に「つばめ」に負けて、セ・リーグの優勝を逃してしまい、「虎党」たちの落胆の姿があった。

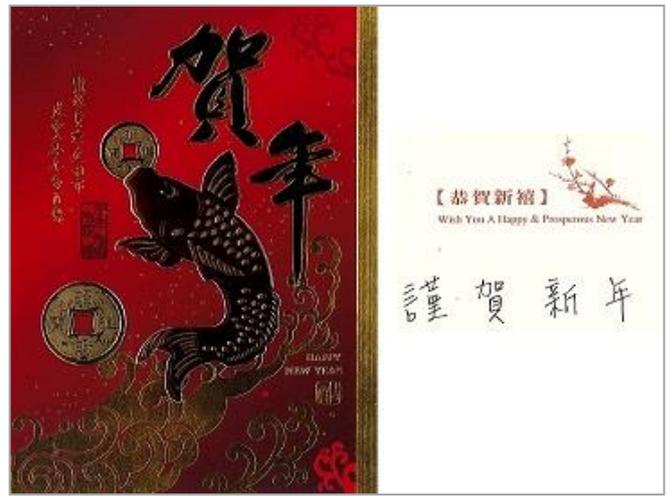
（編集部 堤林）



# みんなの広場

## 「台湾の蔡兄弟から年賀状」

元学習者の台湾の蔡さん兄弟（カナ、カヲ、アキラ）から、年賀状が届いていますので紹介します。



先生：  
お久しぶりです。私達は台湾人  
蔡佳禧三人兄弟です。  
いつも府中井口の先生皆さんの  
お世話にたります。多謝がとう  
ごとういます。  
昨年中は格別のご厚情を賜り厚く  
御礼申し上げます。本年も変わらぬ  
ご愛顧の程よろしく願ひ申し上げます。  
まけまして  
おめでとうごとういます。  
令和4年 祖  
カナ  
カヲ  
アキラ より

（編集部）

## 「外国人のための 府中市散歩ガイドブック 報告会」

2022年1月7日(金) 東京外国語大学(以降、外大)との外大連携プロジェクトで作成された「外国人のための府中市散歩ガイドブック」報告会がオンラインで行われました。その内容が、外大のホームページに掲載されましたので、以下に紹介します。

参加したボランティアの方のコメントは、次号以降で紹介する予定です。

[コミュニティ通訳研究ゼミ学生が府中市に暮らす外国人向け府中市の散歩スポットガイドブックを作成](http://www.tufs.ac.jp/NEWS/student/220117_1.html)

[http://www.tufs.ac.jp/NEWS/student/220117\\_1.html](http://www.tufs.ac.jp/NEWS/student/220117_1.html)

2022. 01. 17

(編集部)

## ～編集後記～

昨年10月に再開した学習会は、12月の最終日まで休止することなく順調に開催でき、「国際ふれあい会」も久しぶりに活気のある会となり、年が明けてからも14日までは順調に学習会を実施できました。しかし、その週末に都内の感染者が爆発的に急増し、17日(月)から、また活動を休止せざるを得なくなっていました。金曜夜をはじめ、いくつかの部会では徐々に学習者が増えつつあった矢先だったので、とても残念です。日本語学習の機会が、しばらくは途絶えますが、『くろすろ〜ど』が、その一助になると同時に、ボランティア、学習者の方々の心のよすがとなるよう、充実した内容を目指したいと思えます。(和田)

## 「QRコードでサロンのホームページへ」

QRコードのQRは、『クイック・レスポンス』の略で、携帯から文字入力なしでホームページなどを表示することを可能にしたものです。

サロンのホームページのQRコードを作成してみましたので、以下に掲載します。



使い方は、携帯のカメラ機能やGoogle Lensなどで、QRコードを読み取り、URLなどが表示されたらタップします。そうすると、ホームページなどが表示されます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。(編集部)



【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘  
会報部会：堤林・和田・岩城・末田・里村

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：[mail@fuchukokusai.gr.jp](mailto:mail@fuchukokusai.gr.jp)

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>